

第21回 ドイツ語ドイツ文化ゼミナール

21. interuniversitäres Juniorenseminar für deutsche und japanische Kultur

「パートナーと家族」 — „Partnerschaft und Familie“

右のような日程で、ドイツ語を学んでいる大学生（1年生から4年生までを主としますが、人数に余裕があれば大学院生も可）を対象に、ドイツ語の訓練を主目的として、4泊5日の「インターユニ」ゼミナールを開催します。

今回のテーマは、「Partnerschaft und Familie」です。ドイツでは近年、夫婦別姓や同性愛者パートナー同士の「結婚」が法律的に認められるようになりましたが、日本でもFamilieや人間関係のあり方は大きく変わりつつあります。皆さんにとっても、祖父母の世代が考える「家族観」、そして両親の世代の抱く「常識」に対して、少なからず違和感を持つ部分があるのではないのでしょうか。日独の間でのみならず、ゼミの参加者の間でも、例えばジェンダーや友人関係をめぐる意識は人によって驚くほど違うことでしょう。第21回インターユニでは、そうした身近な話題をとりあげながら楽しくドイツ語を学び、Partnerschaft und Familieをめぐるドイツの状況を観察し、ひいては私たち自身の家族観や人間観も考え直していこうと思います。

なお、滞日中のドイツ語圏の学生も何人が参加する予定です。このドイツ人学生たちも交えて、習ったばかりのドイツ語を使いながら、テーマについて討論するのもいいでしょう。新たに出会った友人と（夜を徹さない程度に）人生を語るのもいいでしょう。講師の先生たちも皆さんと話し合うのを楽しみにしていますし、すぐにドイツ語では言えない複雑な内容については、通訳をして助けてくれるかもしれません。

楽しく充実したドイツ語漬けの5日間が待っています。いろいろな大学からの参加を期待しています。

2001年12月

Interuniversitäres Juniorenseminar 実行委員会

（代表：相澤 啓一、柿沼 義孝 協力：Goethe-Institut Tokyo）

記

日時：2002年3月11日（月）～15日（金）

場所：独協大学新甲子研修所（東北新幹線新白河駅からバス）

〒961-8071 福島県西白河郡西郷村大字真船字馬立1-8 TEL：02483-6-2131

費用：30,000円（4泊5日の3食付き宿泊代、テキスト代、通信費を含む）＋バス代1500円（利用者のみ。新白河駅⇄研修所の往復。）

募集人数：90名程度（申込み順）。

申込み締め切り：2001年2月4日（月）。その前でも応募者が定員を満たした段階で締め切りますが、締め切り後でも空きがあれば受け付けますので、3月上旬まではメールでお問い合わせください。

問い合わせ先：interuni@mx2.ttcn.ne.jp

備考：申込みが予定数を超えた場合や、一大学からの申込みが20名を超えた場合、Wartelisteに載せ、その旨をお知らせします。なお、どうしてもメールが使用できない場合は、郵送での申込みも受け付けます。その場合、以下の宛先まで、所定の項目を記入の上、郵送またはFaxでお送りください。

〒305-8571 つくば市天王台1-1-1 筑波大学文芸・言語学系、相澤 啓一宛 Fax:0298-53-4409（2月末まで）

講師：相澤啓一（筑波大学助教授）、大塚譲（小樽商科大学教授）、柿沼義孝（獨協大学教授）、鎌倉澄（慶応志木高講師）、三瓶慎一（慶応大学助教授）、清野智昭（千葉大学助教授）、中山純（慶應大学教授）、濱崎桂子（神戸市外語大講師）、星井牧子（早稲田大学講師）、矢羽々崇（獨協大学助教授）、吉島茂（聖徳大学教授）

Matthias Grünwald（筑波大学外国人教師）、Ulrich Heinze（東京大学外国人教師）、Alexander Imig（愛知県立大客員講師）、Angela Lipsky（上智大学嘱託教師）、Thomas Pekar（学習院大学教授）、Maike Roeder（ドイツ語学院ハイデルベルク講師）、Werner Schaumann（大正大学教授）、他

◎ 授業は、ドイツ語の語学力別に編成する10名弱の小グループで行います。テキストその他詳細は3月上旬頃に郵送します。

◎ 研修所には室内温泉プールがありますので、水着を忘れないように。13日午後後の自由時間には、水泳、卓球、周囲の散策や温泉めぐり、また白河市に遠征してボーリング等ができます。

◎ 万が一やむを得ぬ理由で参加を取り消された方には、それまでにかかった費用は負担していただきます。（連絡なく無断欠席の場合は返金しませんのでご注意ください。）

◎ 朝食は和食か洋食かを選べます。申込に際して希望を記入してください。途中で変更はできません。

◎ 申し込んだ後に都合がつかなくなったり、引越した場合、連絡先が変わった場合等は、必ず事務局まで連絡をしてください。

◎ 過去のゼミナールについては <http://www.hc.keio.ac.jp/~skazumi/interuni/> をご覧ください。

	11. (月) Montag	12. (火) Dienstag	13. (水) Mittwoch	14. (木) Donnerstag	15.(金) Freitag
8.00 9.00		Frühstück 起床・朝食			
		Gruppenunterricht グループ授業: ドイツ人講師 日本人講師	Gruppenunterricht グループ授業: ドイツ人講師 日本人講師	Gruppenunterricht グループ授業: ドイツ人講師 日本人講師	Evaluation 総括
12.00	Anreise 到着	Mittagessen + Pause 昼食・休憩			
14.00					Abreise 解散
	Einführung 導入 Einstufung クラス分け	Gruppenunterricht グループ授業: ドイツ人講師 日本人講師	Freie Zeit 自由時間	Gruppenunterricht グループ授業: ドイツ人講師 日本人講師	Änderungen vorbehalten 変更の可能性 あり
17.00	Abendessen + Pause 夕食+休憩				
19.00	Gruppenunterricht グループ授業: ドイツ人講師 日本人講師	Abendprogramme: Sprachspiele Filme+Diskussion Redewettbewerb? 言葉遊び、映画 スピーチコンテスト 他	Abendprogramme: Sprachspiele Filme+Diskussion Debatte u.a. 言葉遊び、映画 ディベート 他	Schlussfeier パーティー	
21.00	!!!?? Kneipe / Nachtruhe ??!!! 懇親会 / 就寝				

申込み手順： 以下の要領で手続きをしてください。（昨年までとは大きく変わりましたのでご注意ください。）

- ① 所定項目を記入した「参加申込みメール」を作成し、送付してください。（宛先：interuni@mx2.ttcn.ne.jp）。
- ② 申込み後、送られてきたメールの「返信」アドレス宛に事務局から受付確認メールが送られますので、それを受け取ったら、参加費全額（30.000円）を所定の口座に振り込んでください。（詳細は、申込み受付確認メールにてお知らせします。）
- ③ 3月上旬をめどに、詳しい案内を郵送にてお送りします。（参加費領収書は、ゼミの現地でお渡しします。）

参加申込みメールの記入要領：

「第21回インターユニに参加申込みます」と明記し、以下の項目を記入したメールをinteruni@mx2.ttcn.ne.jpまで送信してください。各項目については、指示に従って、番号順に記入してください。その際特に、全角と半角の区別に注意してください。なお、住所やメールアドレスは、今後の連絡に必要なものですから、特に正確に記入してください（帰省や引っ越しの予定のある人は、そちらの連絡先等も「9. その他」の項目に記入してください）。なお、添付ファイルは使用しないでください。

1. 名前（全角漢字で。姓、名の順。姓と名の間に全角で一字スペースを入れる。）
2. 名前（半角ローマ字で。姓、名の順。姓と名の間に半角で一字スペースを入れる。）
3. 性別（「男」、または「女」と記入）
4. 郵便番号（半角数字。間にハイフン「-」を入れて7桁。例えば「123-4567」のように。）
5. 住所（県名不要。〇〇市から記入。住所は1-23-4-506のように、半角の数字とハイフンのみ使用。空白スペースは不要。）
6. メールアドレス（定期的にチェックする連絡用アドレスを記入してください。半角英数字。）
7. 電話番号（市外局番から半角の数字と半角ハイフンを使用。例えば0123-45-6789。（ ）や空白は使用しない。）
8. 所属大学名、学年（「〇〇大学△△学部××学科〇年」のように）
9. その他、以下の項目について自由な形式で記入してください。
 - ① これまでのドイツ語学習歴、およびドイツ滞在歴（あれば、どこで、何年、どのような形で）
 - ② これまでのインターユニ参加歴（あれば、甲子、または野尻で、いつ？）
 - ③ 朝食についての希望（「和食」または「洋食」を選択してください。）
 - ④ 上の1～8の項目については、参加者名簿にも記載する予定です。4～7の項目に関して万一同じでも掲載を避けて欲しいと希望する場合、あるいはまた事務連絡用とは別のメールアドレスの記載を希望する場合等は、その旨、該当項目を具体的にあげてお知らせください。
 - ⑤ 事務局からは今後、基本的にメールで連絡を差し上げます。メールが使えない人は、別の連絡先をあげてください。
 - ⑥ その他、帰省などの時期・連絡先。また、ゼミに関して自由な提案やコメントなど。